

7 ワクチン

・世界で 11 種が開発中、そのうち米・英の 2 種が有望視

主な開発企業・機関	開発番号	ワクチンのタイプ	開発段階
英 AstraZeneca 社 英 Oxford 大学	AZD1222/ChAdOx1 nCoV-19	ウイルスベクターワクチン (チンパンジーアデノウイルス)	第3相(ブラジル、南アフリカ、米国) 第2/3相(英国)
米 Moderna 社	mRNA-1273	mRNA ワクチン	第3相(米国)
米 Pfizer 社、米 BioNTech 社 (中国は中国 Fosun Pharmaceutical 社)	BNT162b2	mRNA ワクチン(自己増殖性)	第3相(米国)
米 Johnson & Johnson 社 米 Janssen Vaccines & Prevention 社	Ad26.COV2.S	ウイルスベクターワクチン (アデノウイルス[26型])	第3相(米国、中南米、南アフリカ、 フィリピン)
中国 CanSino Biological 社	Ad5-nCoV	ウイルスベクターワクチン (アデノウイルス[5型])	第3相(サウジアラビア)
中国 Sinovac 社	SARS-CoV-2 vaccine	不活化ワクチン	第3相(ブラジル、インドネシア)
中国 Sinopharm 社 中国 Wuhan Institute of Biological Products	—	不活化ワクチン	第3相(アラブ首長国連邦)
中国 Sinopharm 社 中国 Beijing Institute of Biological Products	BBIBP-CorV	不活化ワクチン	第3相(アラブ首長国連邦)
ロシア Gamaleya Research Institute	[Sputnik V] (Gam-COVID-Vac)	ウイルスベクターワクチン (アデノウイルス[5型/26型])	第3相(ロシア)

第3相臨床試験入りしている主な COVID-19 ワクチン(2020年9月1日時点)

新型コロナウイルスのワクチンの有効性はどの程度期待できる？

2020/09/07 久保田 文＝日経バイオテク より

註 私個人としては中国、ロシアのワクチンは安全性に不安が大きい

・政治的目的で使用されよう、安全性が損なわれまいよう、9社が声明を出した
9月8日 欧米製薬9社、安全性を最重視してワクチンを開発していく共同声明を
発表。臨床試験で安全性、有効性が確認されるまでは申請せず、薬事当局の承認
も求めない。

米 [ファイザー](#)、米 [モデルナ](#)、英 [アストラゼネカ](#)(AZ)、米 [ジョンソン・エンド・ジョンソン](#)
(J&J)、英 [グラクソ・スミスクライン](#)(GSK)、仏 [サノフィ](#) など9社
の経営トップの連名で、共同声明を出した。

声明では(1)接種する人の安全と健康を最優先する
(2)第3相臨床試験で米国食品医薬品局(FDA)などが示している有効性や安全性
に関する承認要件が確認された場合のみ承認申請・緊急使用許可を申請する
(3)グローバルな供給体制を整備する一ことなどを確認した。

・日本は英 AstraZeneca 社から 1 億 2000 万回分、米 Pfizer 社から 1 億 2000 万回
分、米 Moderna 社から 4000 万回分の供給を受けることで合意している
・英 AstraZeneca 社のワクチン一時重度の合併症があるとされ、治験を中止した

が問題ないと判断され治験再開(神経系の合併症か)

同社ソリオCEOはワクチンの治験の中断は「よくあることだ」と指摘。近く再開できれば、「効果があるかどうか年内に分かるはずだ」とした。さらに「年内ないし来年の早い時期に完成する可能性はまだある」とも説明した。

[アストラゼネカ](#)と英オックスフォード大が手掛けるワクチンは、世界で最も開発が先行していたものの一つ。

- ・世界では各国が独占的に使用しないよう、公平に各国に配られるよう努力されている
- ・まだ開発の行方は予断を許さないが、来春には一般使用の可能性もある
- ・効果については、有効性の目標を50～70%としている
- ・中和抗体発現の期待は大きく、一部証明されているが効果持続期間については長くなく3ヶ月未満か？
発症したのち、1か月程度で再感染した例が報告されている
(遺伝子の異なる SARS-Cov-2 が発見され再発ではなく再感染とされた)
- ・日本政府の発表ではワクチン接種は全員無料、医療従事者や高齢者、リスクの高い合併症を持つ人に優先接種としているが具体策は不明